

# 水源

第60号

西岡地区町内会連合会

2021 11

## 町連活動—今、考えること

会長 押木正康

長期化するコロナ禍。影響は西岡町連の活動にも及ぶ。現状と今後の取り組みについて、お話を聞きました。

(広報部)

●思うように出来ない状況の中で

行事は中止や延期を迫られました。なんとか実現しようと、担当部門は努力しましたが、行政の指導も頂き、参加者の安全を最優先にした結果です。

●再開の準備を怠らない

今はアイデアを温める時です。二年も続けて出来ない、いろいろな問題が出て来ます。いざ再開する時、やり方を忘れてしまったり、資器材が傷んでいたりして、大変になります。



その時のために、準備を怠らないことです。その際、新たな工夫も考えなければなりません。今から考えて行かなければ、活動の停滞につながってしまいます。考え続けなければ、良案は出て来ません。

●単町で出来ることもある

例えば、防災事業ですが、町連主催の研修会は独自性に乏しいのが実態です。単町それぞれが、自らの防災機材をちゃんと点検したり、使い方を確認したりすることを地道に行うのも大切なことです。もっと身近で出来ることを、一つ一つ行動に移して頂きたいと思えます。

●町連活動の担い手確保に力を尽くす

役員のなり手がいない、とよく言われますが、育てて来なかったと反省しています。町連で云えば、特に活動

の主役である各部の部員さんの層を厚くすることです。このための具体的な動きは、二年前から始めていますが、これをさらに加速して行きます。

●新しい活動スタイルへの脱皮

主要行事の「にしおか夏祭り」や、「西岡まちの灯り」で、これからの新しいスタイルを考えようという動きが、関係者の間から出

て来しました。再開する時では遅いのです。考えるのは、今だ！です。これが、町連活動の継続性を支えることになりま。意欲的で、創造的な答えが出て来るものと期待しています。その結果、より魅力を増した当地区の町内会活動が、地域の皆さんの大きな共感と支持を得られることを切に願っています。

## ワンショット・にしおか



ニホンカワトンボ 八島彰氏(北斗町内会)・2021年6月撮影

ほとんどのトンボは翅(はね)を開いて留まるが、閉じたまま留まる。メタリックな青緑色のボディ、オスの橙色翅のグラデーションが美しい。多くの都府県で絶滅危惧種に指定されている。

# 続・新しい日常の中で

◇花壇の花たち  
くさまさま



多くの町内会が花植えを中止しましたが、花壇作りを例年通り行った所もあります。今でもきれいな花を咲かせています。  
一方、手を付けなかった花壇にも、雑草の間に咲く可憐な花を見かけます。とても愛おしさを感じます。



◇「やっぱり、ラジオ体操やりたい！」  
役員で話し合っ

今年もやることにしました。遠くからやって来るお子さんもいるんですよ。」子どもたちに向ける会長さんの眼差しが暖かい。



◇今は、やめる  
でも、必ず次に繋げ



る。

今年の盆踊りも子ども神輿も見送り。倉庫に眠る紅白幕やハッピを日干ししながら、来年は必ず実現するとの思いを強くしました。



◇花火大会を、

今年もありがとう

ちよつと寒くて、雨が降りそうな空模様。だけど、見られて良かった。

打ち上げられるたびに上がる歓声。楽しみの少ない今年だからこそ、嬉しさは格別だったことでしょう。



わが町点描  
お疲れ様！  
旧西岡交番



てポスターもありました。無くなるのは残念ですが、時代の流れなんでしょうね。

西岡一条二丁目

西岡の区割りは、西から1条、北から1丁目と地図を見て判明。山や川が一般的に地区の境界線でしょう。

西は望月寒川を境に、南区澄川や豊平区内の平岸と変わり、東は福住と接します。



区割りの始まりは、てつきり「1の1」からと思っていたら地図上には存在しません。望月寒川に呑みこまれているのか。

1条2丁目の北側はもう平岸。幻の西岡1条1丁目。住所の妙。

古い建物は未だ残っています。いつか解体される運命でしょう。長年慣れ親しんだ建物は昭和50年頃に建てられました。築45年にもなります。お巡りさんも最近では、使っていて大変だったことでしょう。

長年交番の周りの草取りや花植えをして来たのが、あかしや町内会です。たくさんの思い出があります。

掲示板に指名手配の「おい、小池！」なん



# ふれあい

西岡地区  
青少年育成委員会

## 「オレンジリボン運動」

知っていますか？



子ども虐待防止  
オレンジリボン運動

シンボルマークとしてのオレンジリボンを広めて子どもの虐待を無くすことを呼びかける市民運動です。児童相談所や民児協と一緒に取り組んでいます。

この運動を通して現状を伝え、多くの人の関心を持っていただき、虐待の無い社会を目指しています。あなたの周りでも虐待と思われるお子さん、心配のあるお子さんはいま



札幌市子ども安心ホットライン

ぶじに おーとー  
TEL 011-622-0010

児童相談所虐待対応ダイヤル

いちはやく

局番なしの189

※一部のIP電話からはつながりません。  
※通話料無料

せんか？  
そのようなお子さんを見かけたら、左記へお知らせください。連絡していただいた方の秘密は守られ、もし内容に間違いがあっても罰せられることはありません。  
あなたの少しの勇気がお子さんの命を守ることにつながるかもしれません。

## 福まちひろば

### 一人暮らし高齢者にプレゼント!!

福まちでは、9月に一人暮らしの高齢者(※1)全員に身近な生活用品を配付しました。「緊急事態宣言」の中、感染予防に十分注意しつつ、福祉推進員(※2)が直接自宅にお届けしました。

町内会長や自治会長も一緒に回ったり、リヤカーに積み込み届けたり、それぞれ工夫しました。訪問先では、外出自粛中の苦勞話に耳を傾ける貴重な機会となりました。

昨年引き続き中止となった「ふれ愛交流会」に替わり、「安心訪問事業」として実施しました。この事業は、西岡地区町連と共同開催。豊平区役所や交通安全実践会からも物資の提供を受けました。

“プレゼントが今年もあるよ！”と伝わっていたこともあり、玄関先で喜んで受け取って頂きました。お届けした推進員も、その笑顔にホッと一安心でした。



様々な生活用品



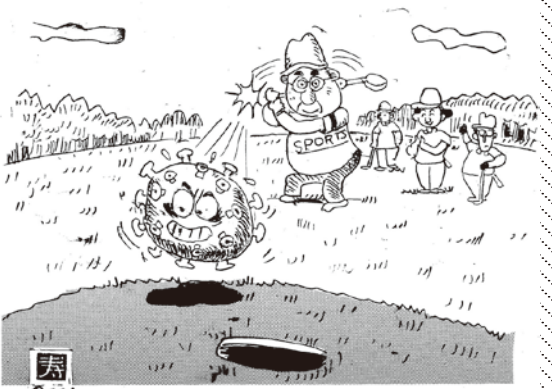
リヤカーも配付に一役

(※1) 70歳以上で、福まち登録者。西岡地区全体で約600名。

(※2) 町内会長・自治会長が推薦するボランティア。

## 「第20回記念西岡地区親睦パークゴルフ大会」来年に順延

今年、盛大に開催する予定でしたが、残念ながら中止となりました。“来年は、なんとしてもやるぞ！”との体育部の思いをイラストでお届けします。



## 町連通信

町連の日常活動やこれからの行事などをお知らせします。

### 令和3年度「電子回覧板モデル事業」モデル町内会決定!

「電子回覧板」とは、パソコンやスマートフォンなどを活用して、情報を発信することです。当地区では、抽選により「ロピア西岡町内会」がモデル町内会に決定しました。約半年間、専門家の支援を受け、利用体制を作ります。この結果は、後日報告されます。コロナ禍に対応した情報発信の手段として期待されます。

### 西岡地区でも街頭募金実施



10月1日から全国で一斉に「赤い羽根共同募金」が始まりました。西岡地区では今年もラッキー西岡店前で10月7日(木)に街頭募金活動を実施しました。募金は市内の様々な福祉活動や

### 広域な課題を解決するために使われます。スマートフォン体験教室、開催

スマホを持つていない高齢者の方々に、操作体験と利便性を実感して頂く研修会が、10月6日(木)12日(火)の一週間の日程で開催されました。

初日は、にしおか会館に参加者12名が集まり、各自にスマホが貸与され、基本的な操作方法や機能などの研修が、駆け足ながら行われました。初心者ならではの疑問が出し、講師泣かせの2時間でした。以降は、講師から配信される課題に取り組み、最終日には受講報告会が実施されました。デジタル技術は「使って慣れた」の世界と実感できた一週間でした。

### 地域で活躍する組織 西岡地区民児協

#### 民生委員・児童委員協議会

民生委員・児童委員は「福祉のことを知っている近所の人」です。相談内容に応じて、必要な支援を受けられる専門機関への「つなぎ役」を担っています。委員の中には主任児童委員もいて、地域や学校と連携し、「子育て応援団」としてさまざまな活動を支援しています。西岡地区民児協は、民生委員・児童委員39名、主任児童委員2名。毎月定例会議を開催し、研修や情報交換等を行い、高齢者や児童の見守りをしていきます。働きながら、子育てや介護をしながら活動している委員もいます。すべての委員は民児協に所属し、多くの仲間と協力しながら活動します。ので、経験のない方でも安心して参加できます。関心のある方は西岡まちづくりセンター(にしおか会館)・電話0111-85410357)にご相談ください。

### 編集後記

マスク着用義務。顔の半分を隠して過ごす日々。お互いに相手の表情から、気持ちや思いを読むことがなかなか難しい。普段のコミュニケーションの中で、相手の顔色を窺うのに苦労する。容姿もそうだ。これが初対面のヒトであれば、自分本位で勝手に顔つきを想像してしまう。ノー・マスクで出会ったなら、全く分からないこともよくある。最近、「歩きスマホ」が通行の妨げになることを科学的に証明した日本人学者に、イグ・ノーベル賞が授与された。昔から「目は口ほどに物を言う」とされるが、これは真実か。残念ながら、小欄は科学的に立証するアタマを持ち得ていない。(岩)

広報誌 水源 第60号  
発行 西岡地区町内会連合会  
豊平区西岡4条5丁目8-121  
電話 85410357  
編集 広報部  
印刷 北晃社齋加印刷所